

クロサワが行く!



あなたの推しを教えてください。

クロサワ(以下、ク)「入社して1か月経ちますがお仕事は慣れましたか? 川越さん(以下、川)」毎日覚えることが多いですが、お客様も職員も優しくて元気をいただいています! ク「前向きな姿勢が素敵ですね。川越さんの推しは? 川」実家で飼っている犬のルアンです。ク「珍しいお名前ですね。川」ルアンはドイツ語で、「優美な」という意味です。ルアンとは、たまたま友人が里親を募集していて出会いました。実は家族に内緒で連れて帰ったんですよ。ク「ええ! ご家族はさぞ驚かれたでしょうね。川」それはもう、ですが、快く受け入れてくれて今ではすっかり家族の一員です。みんなが可愛がっておやつをたくさんあげてしまうので、体重が増えちゃって。ク「ほほえましいです。最近のルアンちゃん? 川」(休日はよく家族みんなでドッグランに行きます。ルアンは慣れなくて全然ランしませんが(笑)。その後に来るカフェのペット用ごはんの方を楽しみにしているみたいで。ク「食欲旺盛! ルアンちゃんが家で待っていると、お仕事頑張れますね!」



interviewee



かわこえ もも 川越 百優さん
2024年4月にちとせ稲毛に新入職員として入社。学生時代は介護福祉課程にて介護スキルや専門知識を学び、介護福祉士資格を取得。

vol. 8

2024.5 Spring

千歳会オリジナルメディア

アスサキ

TOPIC

千歳会をぐるっと交換留学! 第8回「囲碁ボランティアのお仕事に密着!」
昨年、ボランティアの受け入れをスタートしたケアハウスこまち墨田館。今度も初の試み、

ちとせ・かわら版8号
令和6年度千歳会理事長訓話と入職式を開催、
介護旅行イベントを実施しました!

新たな風を吹かす座談会!
副館長長編!



介護歴20年! メイプル館長室の安藤なつみさん(1/P2)



館長室に1人でミーティングをこなす、フルタイムを給与 (P6-7)



ボランティアで学ばせたい! 墨田館をのぞかせてみました! (P4-5)

千歳会 介護旅行 イベント

栃木

歴史を感じる 市内巡り

趣やかな花々を満喫できる

あしかがフラワーパーク

開催日 2024年6月23日(日) 定員 先着15名(車椅子2台)

参加費 10,000円 締切日 開催日の2週間前

旅行場所 あしかがフラワーパーク、史跡足利学校

対象 ちとせ北本、こまち墨田館のお客様とご家族
※ちとせ稲毛、ちとせ小町、ケアハウスちとせは7月開催予定。

- 社会福祉法人千歳会 法人本部
特別養護老人ホーム ちとせ稲毛
〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
info@1000.or.jp (法人本部)
info-image@1000.or.jp (ちとせ稲毛)
- 社会福祉法人千歳会 法人本部 分室
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
info@1000.or.jp
- 特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本
〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
info-kitamoto@1000.or.jp
- 特別養護老人ホーム ちとせ小町
デイサービスセンター ちとせ小町
〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
info-komachi@1000.or.jp
- ケアハウス ちとせ
訪問介護ステーション ちとせ
居宅介護支援センター ちとせ
デイサービスセンター ちとせ
〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
info-chitose@1000.or.jp
- 居宅介護支援センター みはま
〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 都栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712
- ケアハウス こまち墨田館
〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
info-sumida@1000.or.jp



安藤 なつさん

2023年、介護福祉士の資格を取得した安藤なつさん。介護業界の“広報”をしたいと、取材を受けてくださいました。介護の知見が次々と出た、実りのある対談をどうぞ!



介護は魅力的な仕事。働く人を増やしたい。

ひだり ひろまさ
左 敬真 理事長

法人の未来を考えつづけた新年度。国がグループとなり、時代の変化に柔軟に対応できる法人づくりを目指す。

安藤 なつさん

お笑い芸人、「メイプル超合金」のツッコミ担当。バウエティを中心に女優としても活躍。介護職に携わっていた年数はボランティアを含めると約20年。2023年に介護福祉士を取得。

理事長(以下、左) 介護業界の“広報”をしたいとおっしゃっていましたが、どんなことをやっていきたいですか?

安藤なつ(以下、安) 働く人を増やしたいです。利用者さんには、一人ひとり違った物語があるんですよね。働く人たちが「この物語や状況を楽しめる」までもっていきたい。今、介護業界の難職の問題って、一人ひとりの話ではなく、問題のほうにフォーカスされていて、辛くなっちゃうんじゃないかと思うんです。「介護は大変」という世の中の見え方にひっぱられちゃうというか。もちろん、きれいごとだけではない世界です。が、「楽しめる」までいかないまま、やめちゃうのはもったいない。まず、一人ひとりの受け止め方やスルースキルを身につける。そうやって、実際に面白かったことを介護する側で共有して、いろんな視点から見る力がつけられれば、「楽しめる」までいけるんじゃないかと。

左 千歳会も、技術・学術発表会「C1グランプリ」を年に一度開催していて、これまで培ってきたケアの質を向上するための技術を共有する機会をつくっているんですね。あと、法人マガジン「アスサキ」の中で、私が実際にケアを受ける「理事長チャレンジ」もやっているんです。2つに共通して感じたのは「ここまで考えてるんだ!」っていう驚き。ケアの技がしっかりと受け継がれる機会にしたいと続けています。

安 素晴らしいですね! 職場のチームワークってすごく大切だと思います。職員同士の申し送りやコミュニケーションを重視することで、ケアの足並みをそろえて、現場がよりよくなっていくんじゃないかな。

※取材は4月25日に行いました。(聞き手:鈴木健三)

安藤なつさんとの対談の全編はこちら▶



理事長チャレンジ

理事長が現場職員たちのリクエストに応えるチャレンジ企画!

お題 排泄介助の見えない配慮を体験!(前編)

ベッド上での排泄介助の際、「カーテンを開け、布団のめくり方も慎重に。プライバシーと羞恥心に配慮します」と説明を受ける理事長。お顔側の手や物は常に清潔にすること。怪我がないかなど、排泄だけでなくお身体の状態を見て保温をすること。お客様に協力をしていただきおむつ交換をすること。「一緒に行っていたら、有難うございます」とお伝えすることなどを見学しました。



共同作業としたうえでの配慮に感動!

「技術・学術研究発表会~C1グランプリ~2024」を開催!



4月15日に開催された「C1グランプリ」。介護の技術力・専門性・組織力の向上を目的に、千歳会のケアNo.1を決める発表会として、3回目の開催となりました。今回は、日本科学未来館のホールを貸し切り、制作のプロによる演出や審査員のご参加も。初の試みとして「実技発表会」を実施。3大介護(食事・入浴・排泄)のサービス向上を目指し、各施設で推薦された介護職員が「ケアのポイント」を発表しました。総勢10組の職員が研究内容を発表し、最優秀賞・特別賞が決定。職員の熱い想いが千歳会No.1のサービスに繋がっていくことでしょう! 来年度のC1グランプリもご期待ください!

「令和6年度 千歳会理事長訓話と入職式」を開催!



4月3日、ちとせ稲毛の地域交流室で行われた入職式。左理事長より職員全体に向けた訓話があり、事業推進目標に掲げた「3つの諦めないこと」を軸に、千歳会の今後の方針や仕事への向き合い方についての話がありました。厳粛な雰囲気の中、新入職員の二人は真剣に話を聞いていました。

その後の辞令交付、緊張ながらも辞令を受け取る二人を職員が見守り、会場は和やかなムードに包まれました。新入職員の

お二人、千歳会を選んでいただきありがとうございます!そして、私たちは新しい仲間を迎え今年度もさらに躍進してまいります。



介護旅行イベントを実施しました!

今年度の事業推進目標で掲げる「お客様の旅行する喜びを諦めない」という想いを実現するため、コロナ禍で休止していた「介護旅行イベント」を再開しました。希望されたお客様、ご家族と一緒に施設職員が同行しながら、観光やその土地の名物料理を楽しんでいただくイベントです。初回は、横浜中華街に日帰り旅行。「久しぶりの外出ができて嬉しかった」「お店で食べる本格的な料理がおいしかった」「職員と一緒にだから安心」など、たくさんの喜びの声をいただくことができました。



千歳会をぐるっと 交換留学!

聞いてほしい

すがわら あつし
菅原 淳さん

生活相談員、介護認定を受けたお客様とご家族の見学のご案内をしたり、地域の方からの将来の介護に関する相談も受けたりする。前職で、情報発信の仕事も。



ちょうど北本でも、「地域貢献をしていくためにボランティアの方を受け入れたいね」という話をしていたところでした。この企画で、いろいろと学ばせてもらおうと思います!

スカイツリーの見遠せる 屋上庭園を守る

園芸ボランティアとして藤田さんが墨田館にやってきたのは2023年8月。もともとは、別の施設でフラワーアレンジメントの講師を15年ほどしていたそう。コロナによって中断となり、しばらく動けない時期が続いたが、一人作業であれば問題ないので、墨田区の社会福祉協議会が運営する「すみだボランティアセンター」に登録。縁あって、墨田館に通っていたことに。

藤田さんの指導の元、屋上の庭木への水やり、落ち葉や枯れ草などの掃除を一緒に行った。さすが、動きに無駄がない。夏から秋にかけて見えている庭木なので、種から芽が出た菜の花や、金柑が実をつけたことなどを嬉しそうに教えてくださった。



▲金柑の実がついている。「鳥にすぐ食べられちゃうのよ」と藤田さん。



▲庭仕事を教えてもらう。雨水をとって置いて水をやりたり、落ち葉を堆肥にするなど、一切の無駄がない。



▼屋上の庭には、数々の芽吹きが見られた。



昨年、ボランティアの受け入れをスタートしたケアハウスこまち墨田館。今回も初の試み! ボランティアで関わってくださる地域の方に、あれこれ教えていただきました。

第8回

ケアハウスこまち墨田館 << 特別養護老人ホーム ちとせ北本

「園芸ボランティアのお仕事に密着!」

Text by Atsushi Sugawara

教えてほしい

ふじた かずえ
藤田 和恵さん

2023年8月から、種々の世話をするボランティアに通う。もともとはフラワーアレンジメントの先生。墨田館でも、お教室の計画があるとか……?

すみだボランティアセンターとは?

ボランティア活動に対する墨田区民の理解と参加を促進するとともに、墨田区のボランティア活動の拠点として、その活動を推進・援助する施設。

ボランティアを希望する人たちが専門員に相談や登録ができる。



各自治体にある ボランティア支援制度をチェック

藤田さんが見せてくれたのは、一冊の冊子。表紙には「介護支援ボランティア・ポイント制度」と書いてあり、スタンプが押されている。社会参加、地域貢献、介護予防などを推進するため、65歳以上で介護サービスを受けていない墨田区民を対象に、区内の指定介護保険施設で行うボランティア活動を支援する制度。墨田館も登録している。1時間あたり、1000円がもらえるのよ。月の上限は2万円。このお金でおいしいランチを食べることを目標に頑張れるわ」と藤田さん。ボランティア先に墨田館を選んだのは、自身の都合でスケジュールが組める、時間に自由が利くところだという。

北本市での制度や、受け入れ体制についてもいろいろと調べていきたい。



▲取材の様子。ボランティアとしてのご意見をうかがった。

▶「介護支援ボランティア・ポイント制度」の冊子。取材時、藤田さんはすでに30回墨田館に来ていた。



▲施設内の見学もさせてもらった。



▲藤田さんも屋上の行き来はあるものの、居住空間の見学は初めてだそう。

稲垣 詠美子さんの場合

実はもう一人、取材に協力してもらったボランティアさんが。稲垣さんは4月から食堂の配膳の手伝いをしているそう。以前は、アパレル関連の仕事をしていて、看護師になるために、現在は勉強中とのこと。少しでも医療や介護の現場に入り、体験から学びたいとボランティアに登録した。入ったばかりだしながらも「食事の配膳と言っても、お客様一人ひとりで出すものが違ったり、気配りをする内容が違います。責任もある仕事だと思います」と自身の活動について話してくれた。お客様の名前と顔を覚えていくのが楽しいと。



受け入れのコツを伝授してもらおう

「墨田館の施設長、佐々木映三さんにもお話を聞くことができた。「墨田館を地域に開かれた場にしよう」と、まずは社会福祉協議会に行きました。ボランティアの受け入れについて、なにもわからなかったので相談を。いろいろと教えてくれますよ。それから、地域包括支援センターや地域の町内会に顔を出したり。まずは足を運んでみるのがいいと思います」

ちとせ北本でも取り入れたい事例をたくさん見せていただいた。ボランティアの受け入れについても、少しずつ取り組んでいきたい。



▲佐々木さんのお話を聞く。

ケアハウスこまち墨田館
information

所在地 〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
TEL 03-6657-5690
E-mail info-sumida@1000.or.jp

FAX 03-6657-5691
WEB https://1000.or.jp/facility/ch-komachi-sumida/



セミナーを開いてみよう！ チェックシート

ちとせ小町で、3か月に一度開催されてきた「介護セミナー」。今回は特別企画として、そのノウハウをチェックシートにして公開します。実際に、地域の方との連携が広がった例も、コメント付きでご紹介！

協力：現ケアハウスちとせ 高寺 誠

準備のチェック

- 「何のためにやるのか」目的をはっきりさせる
……例：地域がつながる場をつくる、地域に開かれた事業所にする
- 誰に向けて、何をするのかを決める
……例：地域福祉に関わる地域住民と、介護に関する学びをシェアする ※ターゲットをはっきりさせる
- 行政(市役所)へ相談に行く
……実施に問題がないか、求められる制約があるかを確認する ※(ちとせ小町)高齢者福祉課が窓口
- 講師への依頼(日程調整と打ち合わせ)
……前職も含めこれまでの人脈を駆使して人選、依頼内容を伝える
- 会場の手配
……収容人数・費用・使用できる機材・駐車場の有無・予約の有無を確認 ※外部施設で行う場合
- 申し込み受付方法を定める
……例：リーフレットの裏面に申込用紙としてFAXで受付、電話対応など

広報のチェック

- リーフレット、ポスターをつくる
……開催日時・内容・申し込み先などの詳細をシンプルに、読みやすい言葉で制作、印刷(リーフレットA4、ポスターA3)
- 広報物を持って、宣伝をしよう
……ターゲットにアプローチするための窓口を探る(配布先リストをつくり、常に更新するのもおすすめ) ※(ちとせ小町)佐倉市ケアマネージャー協議会、佐倉市社会福祉協議会→地区社協、佐倉地域包括支援センター、地域の自治体、公民館など



当日に向けてのチェック

- 当日のおおまかな進行表をつくる
……例：開会、施設長挨拶、運営による導入講義、講師による講義、質疑応答、グループワーク(施設長主導・講師も参加)、閉会
- パワーポイントをつくる
……進行表に合わせたもの、導入講義をする場合の資料など
- 配布資料など、持ち物チェック
……次回のセミナー開催の告知チラシ、アスサキ、千歳会関連の資料など
- おもてなしも大事に！
……会の終わりに、メッセージカード付きの個包装のお菓子を配布 ※会場の飲食の可否を確認すること

開催後のチェック

- ご協力者にお礼の連絡を
……メールでも電話でも
- ふりかえりし、改善すべき点がないかを考える
……実施のタイミングや会場の利便性、グループワークの内容など、よかった点も含めて共有する

👉 **最初から完璧を目指さなくてOK!**
とにかくやってみよう!

セミナーをきっかけにして広がった地域とのご縁

- 城の辺地区社協との買い物連携
- 佐倉市東部地区社協のお祭り参加
- 佐倉市包括支援センターによる地域ケア個別会議の参加
- 白銀自治会より福祉遊園所への障害児童受け入れの要請
- 佐倉市シルバー人材センターのヘルパー研修への外部講師依頼
- 佐倉市ケアマネージャー協議会よりちとせ小町の介護セミナーへの後援

新たな風を吹かす座談会!

～副施設長編～

—これまでの経歴と介護職歴は?—
佐藤 25歳で異業種から介護業界に入り24年が経ちます。デイや老健など現場の経験もありますし、在宅ケアマネの経験もあります。あつという間ですね。
川名 千歳会に来る前は、バス鉄道会社や建設業界で事務職をやっていました。介護業界歴は5年半です。前職で介護業界に入り、採用の担当をしていました。ただ、経験がないので仕事のことを

聞かれても答えられなかったんです。なので、10か月ほどショートステイと特養の現場に入って、夜勤も含めて介護の業務を経験しました。
鈴木 20歳からこの業界に入って14年です。千歳会には2024年1月に入職しました。前職でも、採用や教育係、ケアマネなどあらゆる役割を担って来ました。いわゆる「なんでも屋」のようなことをしていました(笑)。

—皆さん4月から副施設長になられました。どんな仕事なんですか?—

佐藤 人や設備、お金といった部分を、施設長とともに支えていく仕事だと認識しています。けれど、やることは今までと大きく変わらないというか、気持ちごとになり、職員とのコミュニケーションを大切に、事業所内の横のつながりをさらに強くしていきたいですね。
鈴木 佐藤さんがおっしゃるとおり、施設のハード面もソフト面も支えていく仕事だと思います。私は特に、職員の働く環境を整えていきたいです。

川名 ちとせ北本も多職種連携の力をいれたいので、最近では、会議の場に参加してもらうように呼びかけをしたり、それぞれの思いを発言してもらうように声かけをしています。

鈴木 職員同士や、お客様と職員、さらには地域の方々と施設の間に入る仲介役のような存在とも言えるかもしれませんね。

—職員の方々には、どんなことを意識して接していますか?—

佐藤 外国人の職員や主任、厨房の職員など、役種や業務内容に関わらず話を聞くようにしています。80人いる職員が、困りごとや相談事を言いやすい環境にすることが重要だと思います。

あとは、歴史のある事業所なので、施設内の設備のメンテナンスなども整えていかなくてはと思っています。

川名 私は介護歴が浅いので、一緒にやってみようということをお大切にしています。相談をされたら、職員がなぜそう感じているのかを知ろうと心がけています。

鈴木 「安心して聞いてもらうためには？」を常に考えるようにしています。たとえば、感染症や事故といった有事の際に、誰に相談するのが、どう対応するのが共有できるマニュアルづくりをしたいですね。何かが起こったときに、落ち着いて対応できる環境を整えていきたいです。

川名 マニュアルについては、各事業所で連携をしてもよさそうですね。私は聞きたいことがあったら、すぐに他の事業所に電話しますから、鈴木さんにもよく電話にますよね(笑)。

—「連携」というお話が出ましたが、事業所間の連携はどうお考えですか?—

鈴木 入職式もそうですが、あちこちに位置する事業所が一堂に集まって直接話を合わせる機会があることが、連携の第一歩



▲入職式の様子。訓令の交付が行われた。
▶千歳会の社章、施設長をはじめとする役員をもつ職員に贈呈される。

なっている気がします。川名さんがおっしゃるように私もわからないことや困ったことがあったら他の事業所に電話しますし、なにがあったらすぐに相談できるという関係性ができているところが、法人の強みだと感じます。

佐藤 たしかに、私も北本にはなかなか行く機会がありませんが、北本の川名さんと何気なく話せるのって、普段から連携が取れているって言うことですね。

川名 はい。北本は物理的には遠いですが、気持ちほどの事業所よりも近く、千歳会の一員としてさらに存在感を増していくつもりです。引き続きどうもよろしくお願いいたします。

佐藤 熱い……! ごちそうさようしくお疲れします(笑)。



川名 秀幸さん
ちとせ北本の副施設長兼、本館総務主任。意見が言いやすい職場環境づくりに奔走する。趣味は、山手線沿線をぶらりと散歩すること。

佐藤 清志さん
ちとせ小町の副施設長兼、施設ケアマネ。培ってきた事業所の指針を尊重し、職員の働く環境を大切に。仕事後の一役が空欄の時間。

鈴木 健太さん
ちとせ北本の副施設長兼、主任生活相談員。マニュアルや役割分担等の整理整頓をする。休日は家族と過ごす。公園で散歩が好きなこと。